

梅毒の届出状況

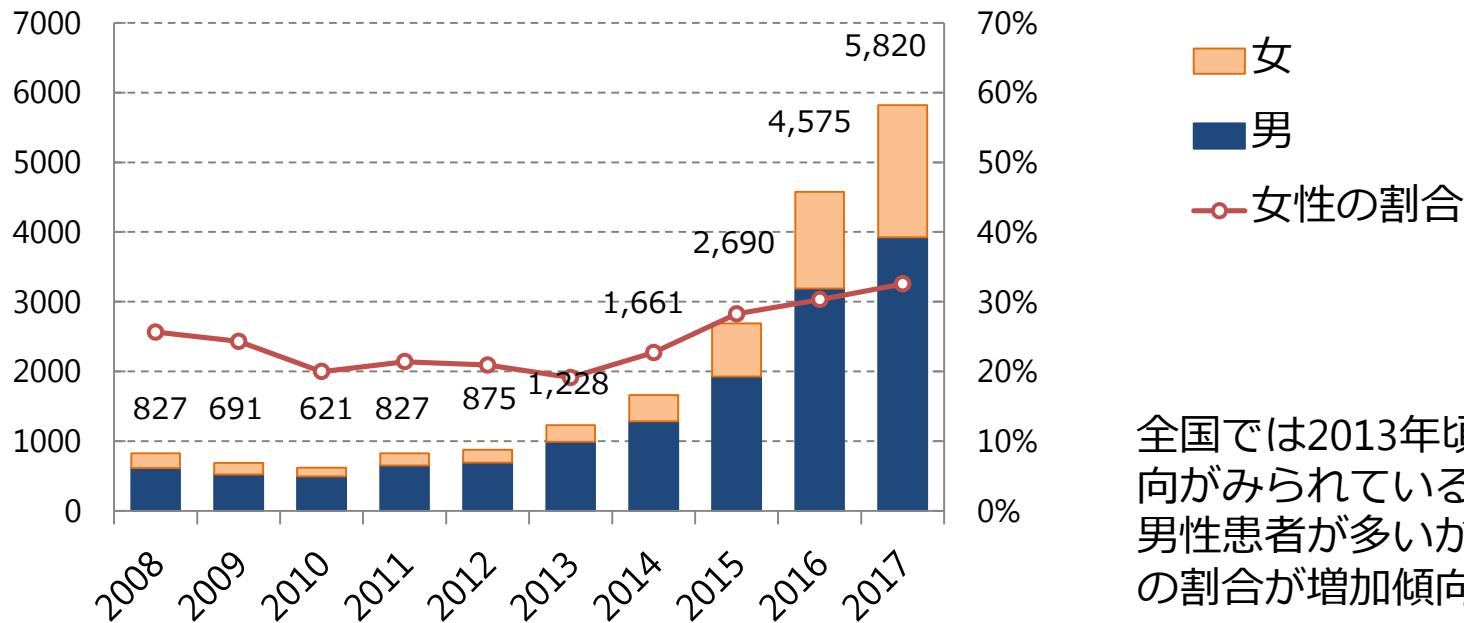
2018.7.18

岐阜県保健環境研究所

※2017年の全国データは暫定値

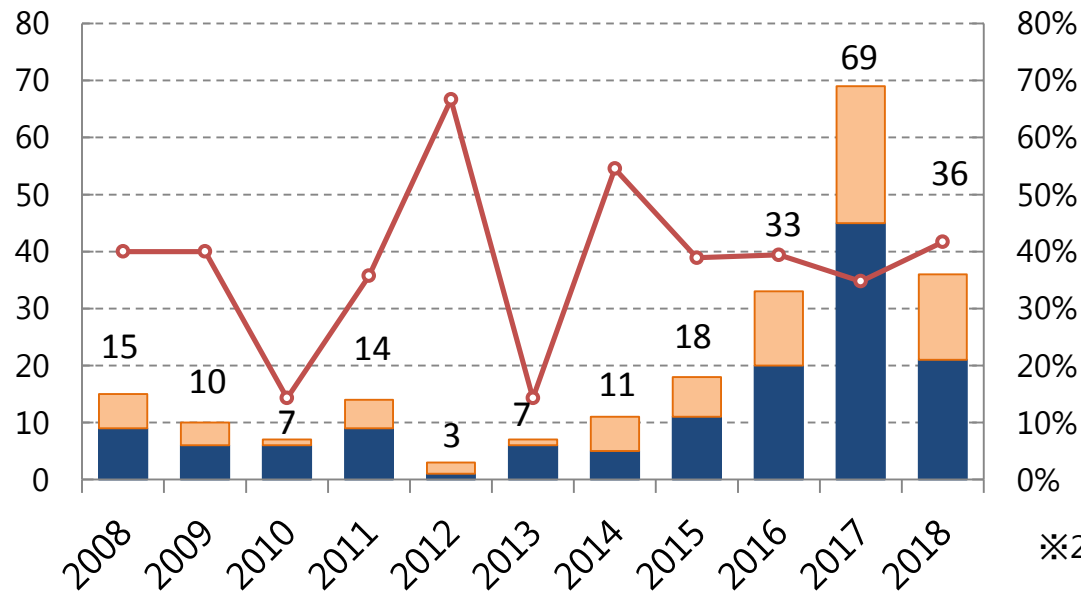
梅毒患者報告数 年推移

全国



全国では2013年頃から増加傾向がみられている。
男性患者が多いが、女性患者の割合が増加傾向にある。

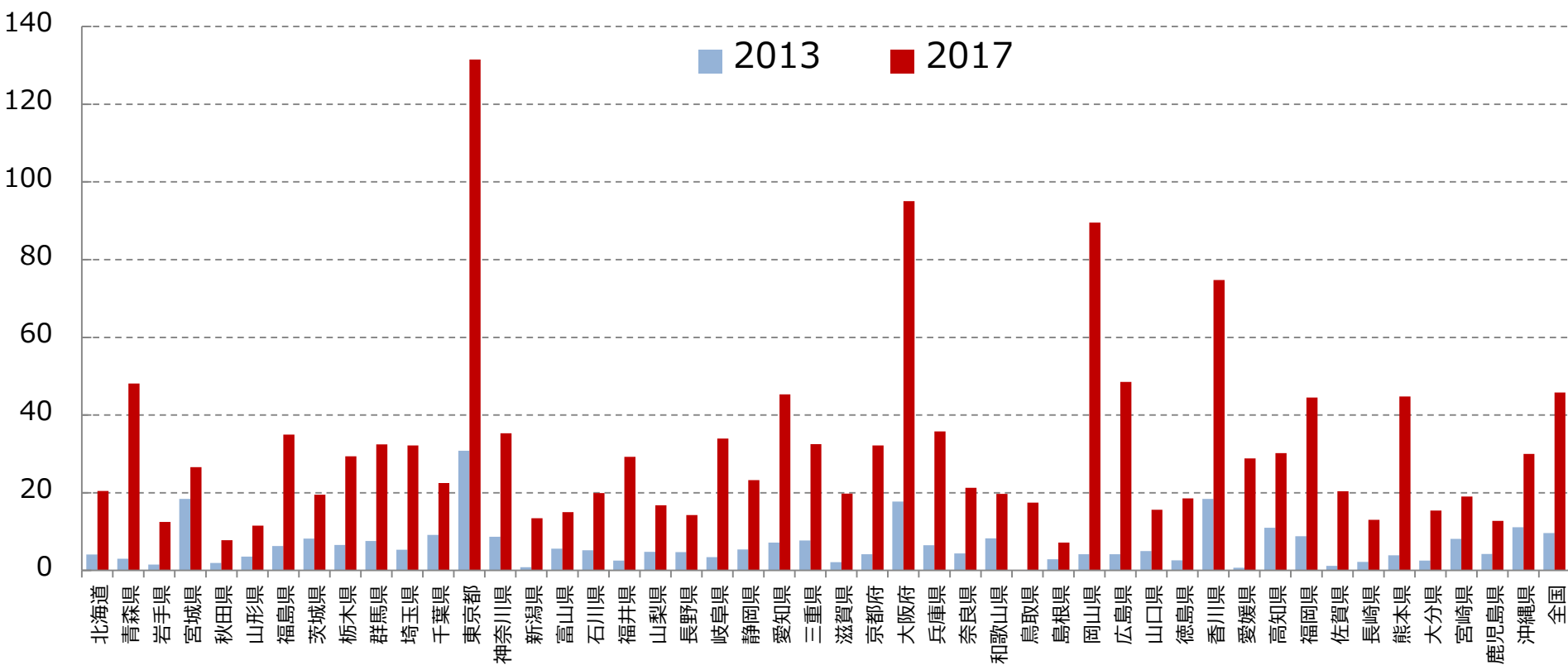
岐阜県



岐阜県では2016年、2017年と顕著な増加がみられている。

※2018年は1～26週

都道府県別 人口100万人あたりの患者報告数（2013年と2017年の比較）



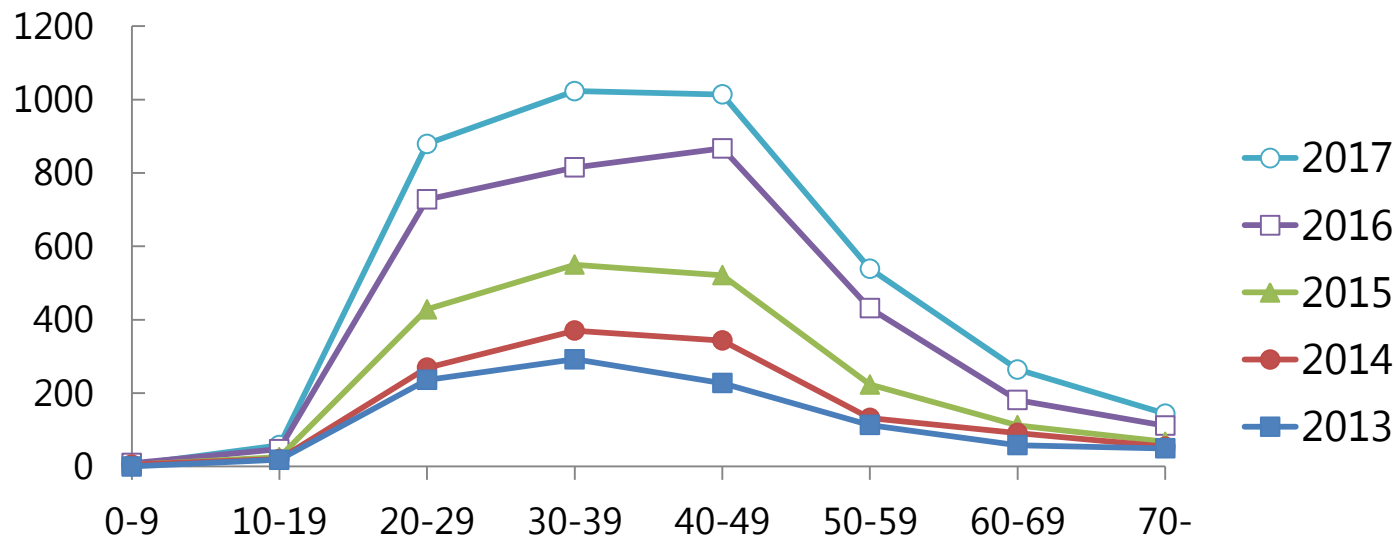
※人口は2015年国勢調査

2017年は2013年と比べると全国的に患者報告数が増加している。
 2017年は東京、大阪のほか、岡山、香川などでも人口あたりの報告数が多い。
 2017年、岐阜県は47都道府県中13位。

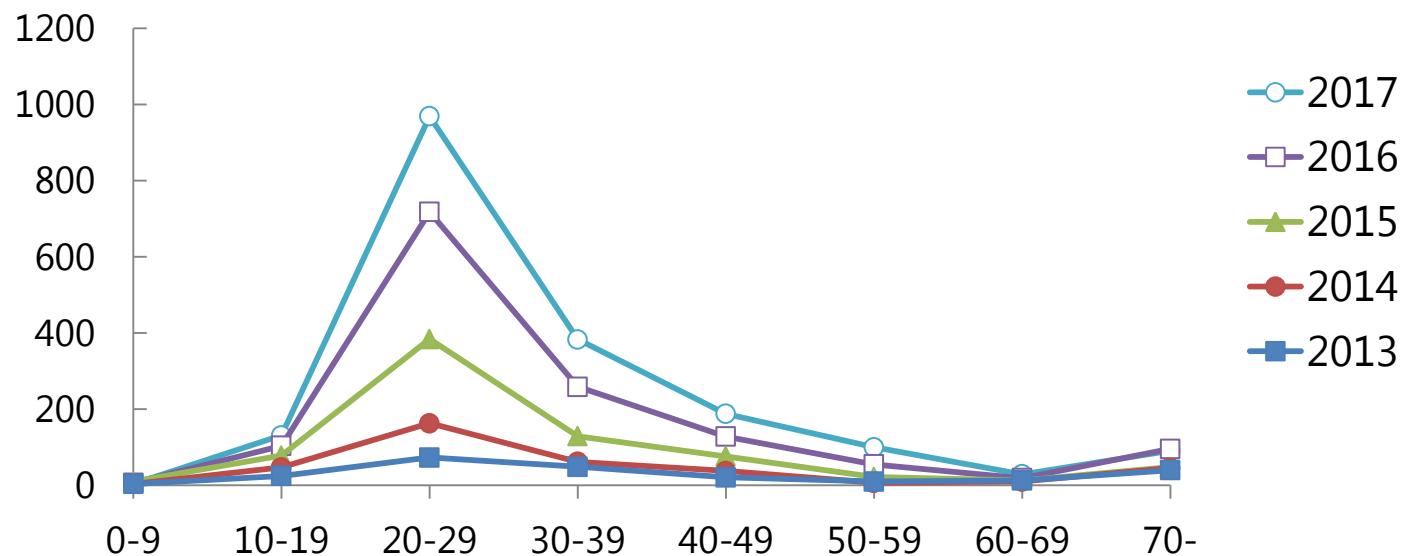
年齢分布

全国

男



女

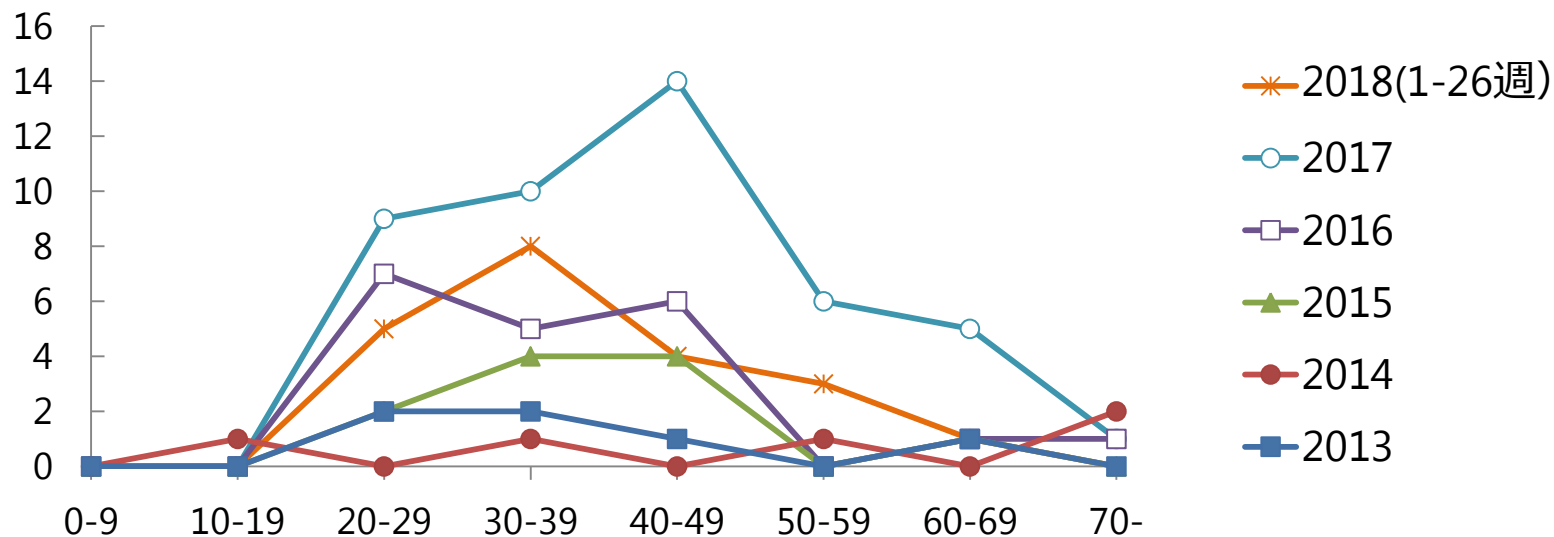


男性は20～40歳代、女性は20歳代が多い。

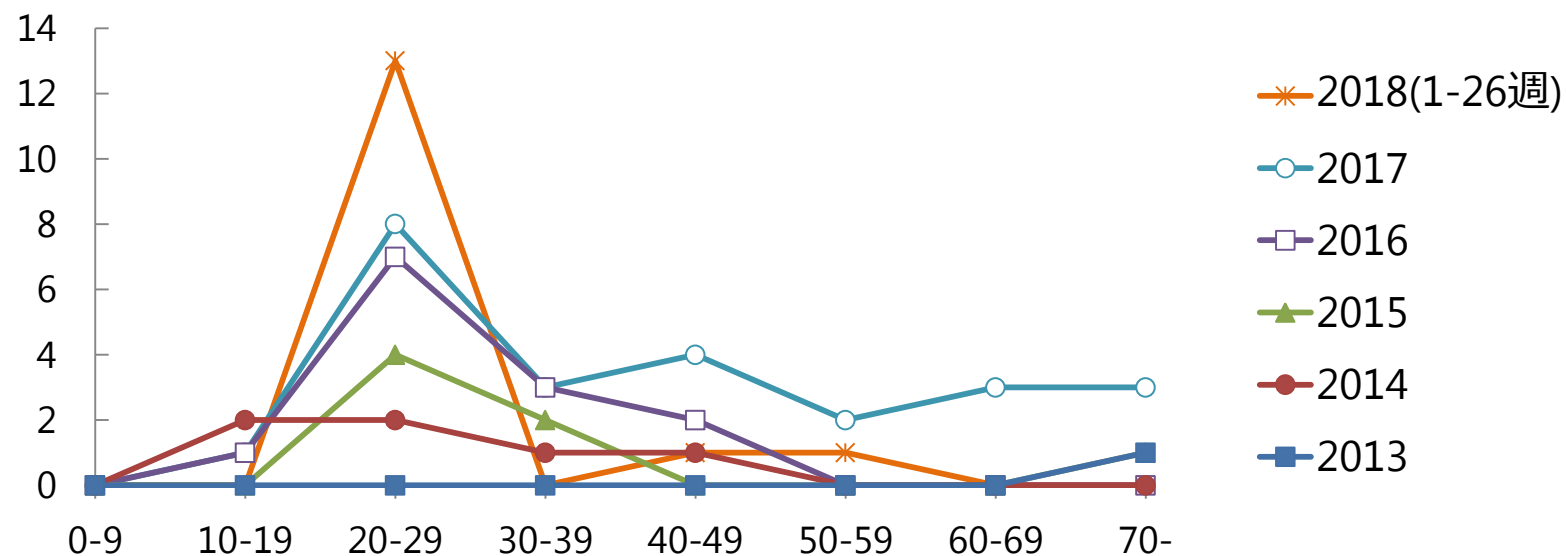
年齢分布

岐阜県

男



女

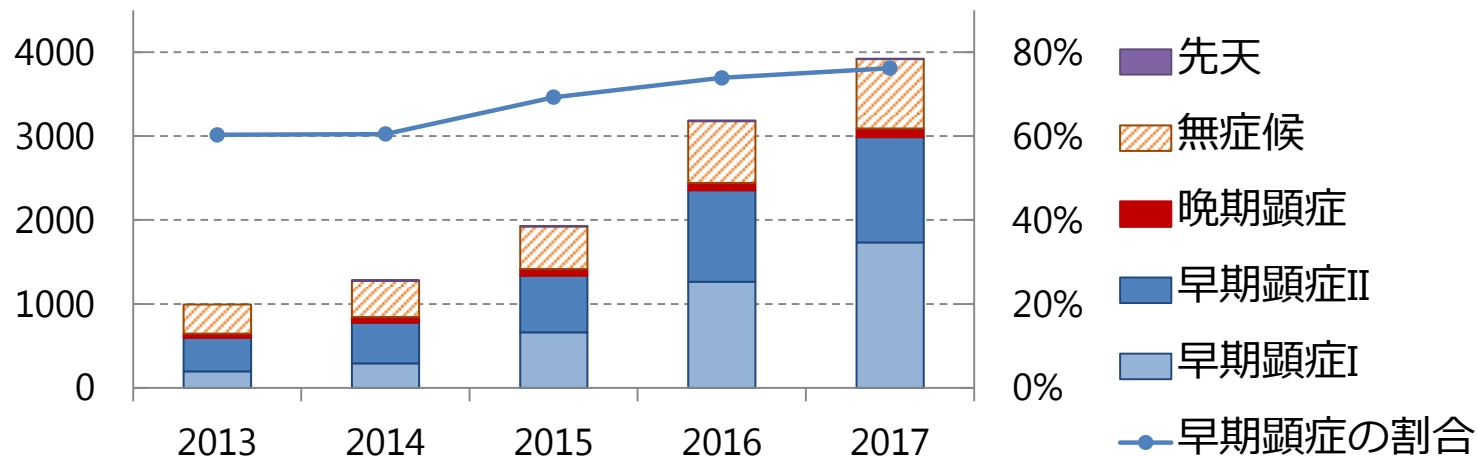


全国傾向と同様に、男性は20～40歳代、女性は20歳代の増加が目立つ。

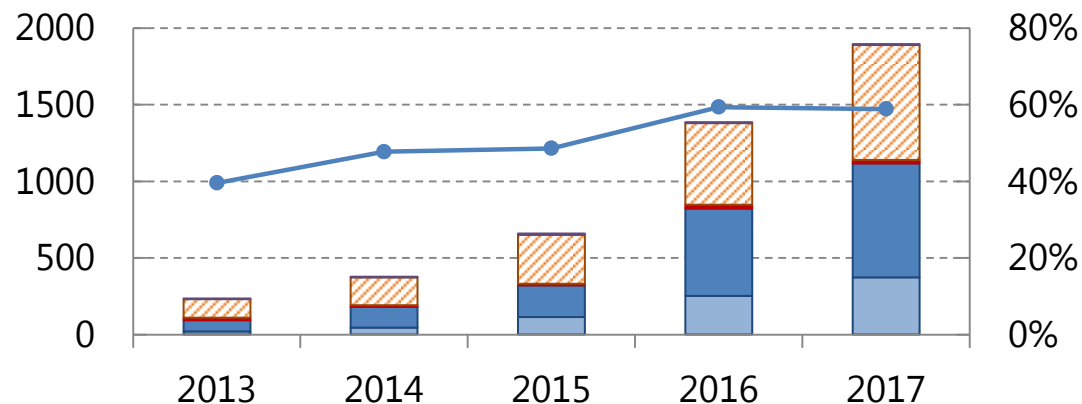
病型

全国

男

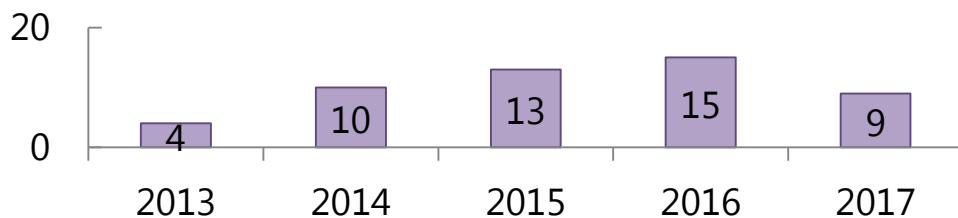


女



早期顕症梅毒（感染早期の患者動向を反映）の割合が、2017年は男性で76%、女性で59%。

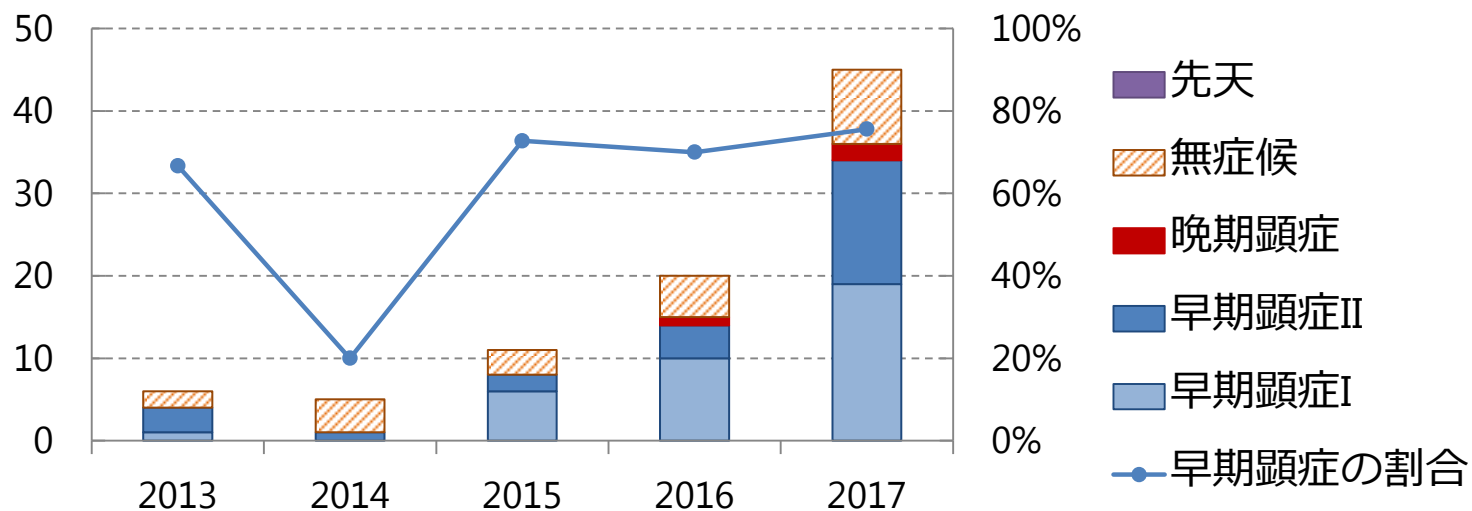
先天梅毒再掲
(男女計)



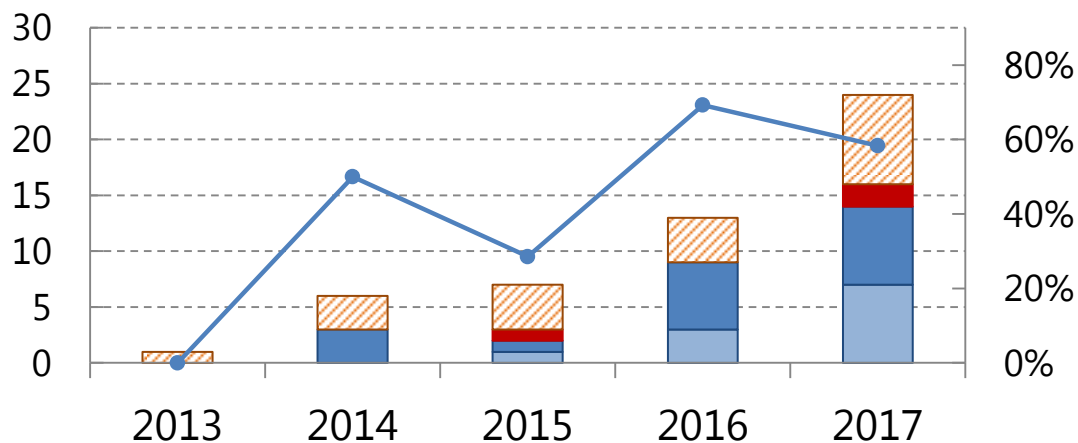
病型

岐阜県

男

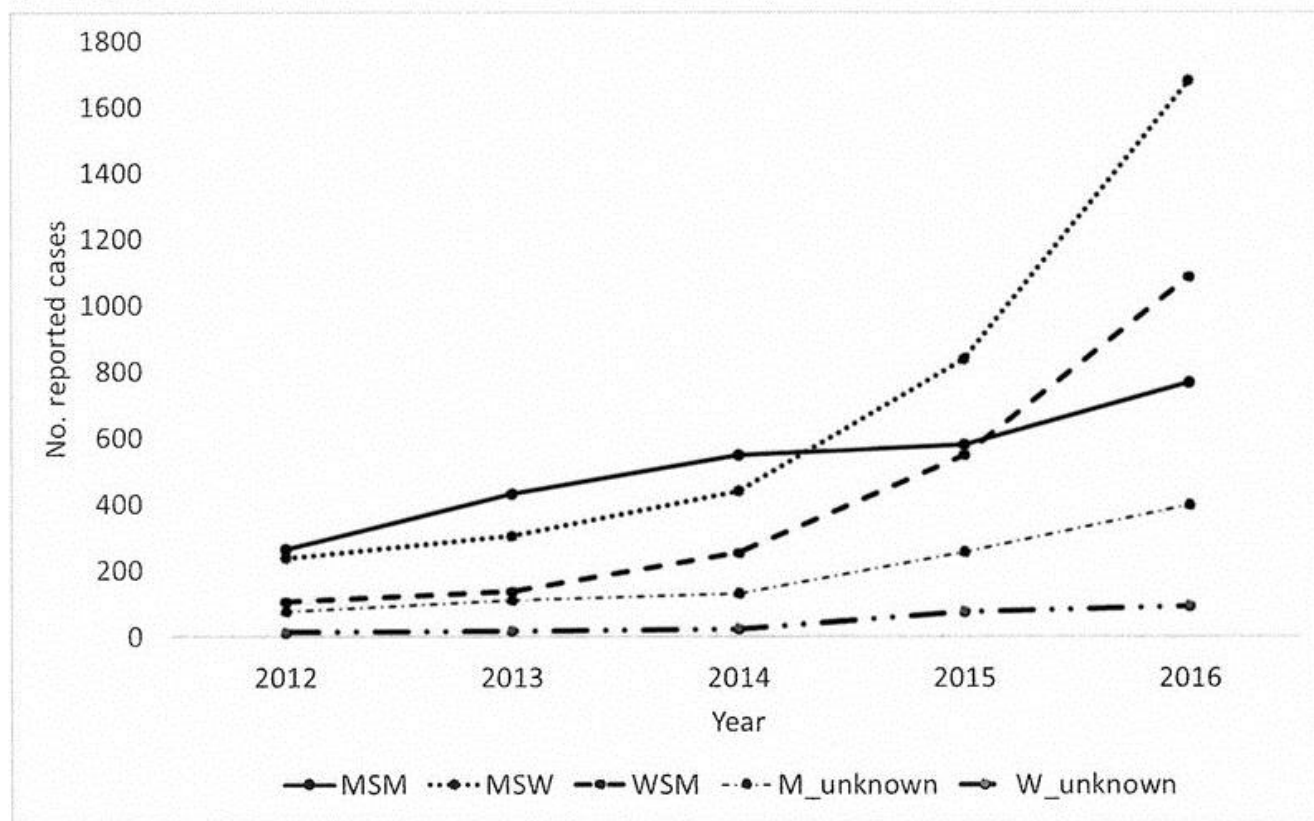


女



2017年は男性の76%、女性の59%が早期顕症梅毒で、全国とほぼ同じ割合。

All cases



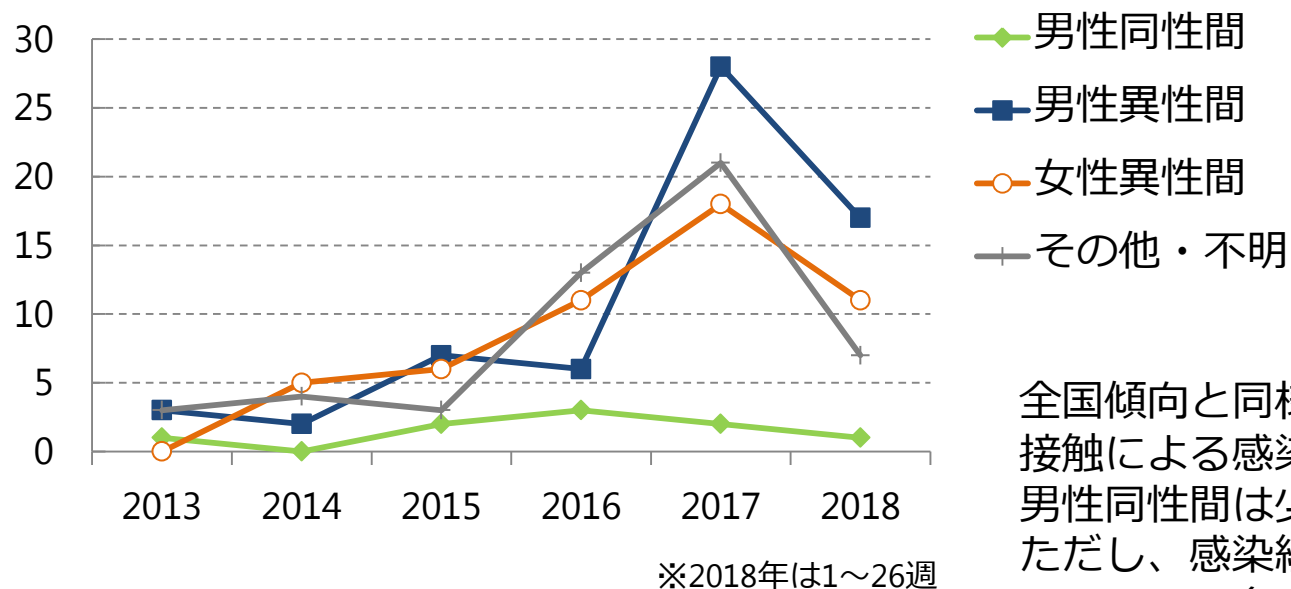
Rapid Increase in Reports of Syphilis Associated With Men Who Have Sex With Women and Women Who Have Sex With Men, Japan, 2012 to 2016.

Takahashi T, Arima Y, Yamagishi T, Nishiki S, Kanai M, Ishikane M, Matsui T, Sunagawa T, Ohnishi M, Oishi K. Sex Transm Dis. 2018 Mar;45(3):139-143.

男女ともに異性間接触による感染が増加している。

感染経路

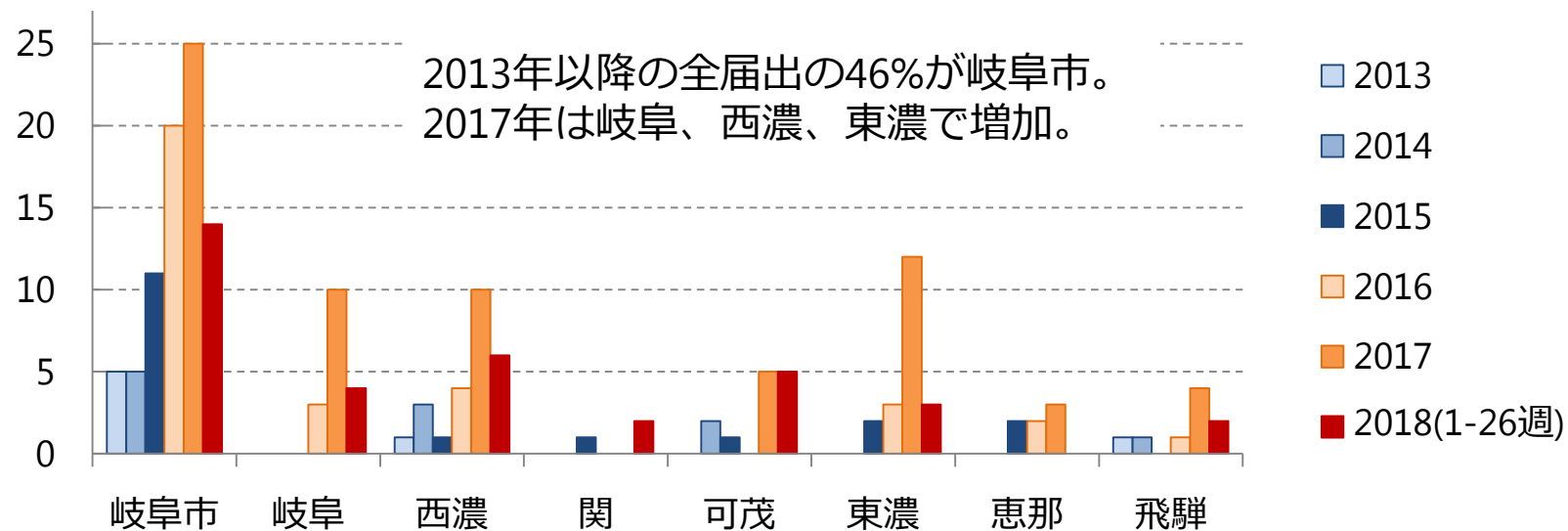
岐阜県



全国傾向と同様に男女ともに異性間接触による感染が増加している。
男性同性間は少ない。
ただし、感染経路不明として届出されるものも多い。

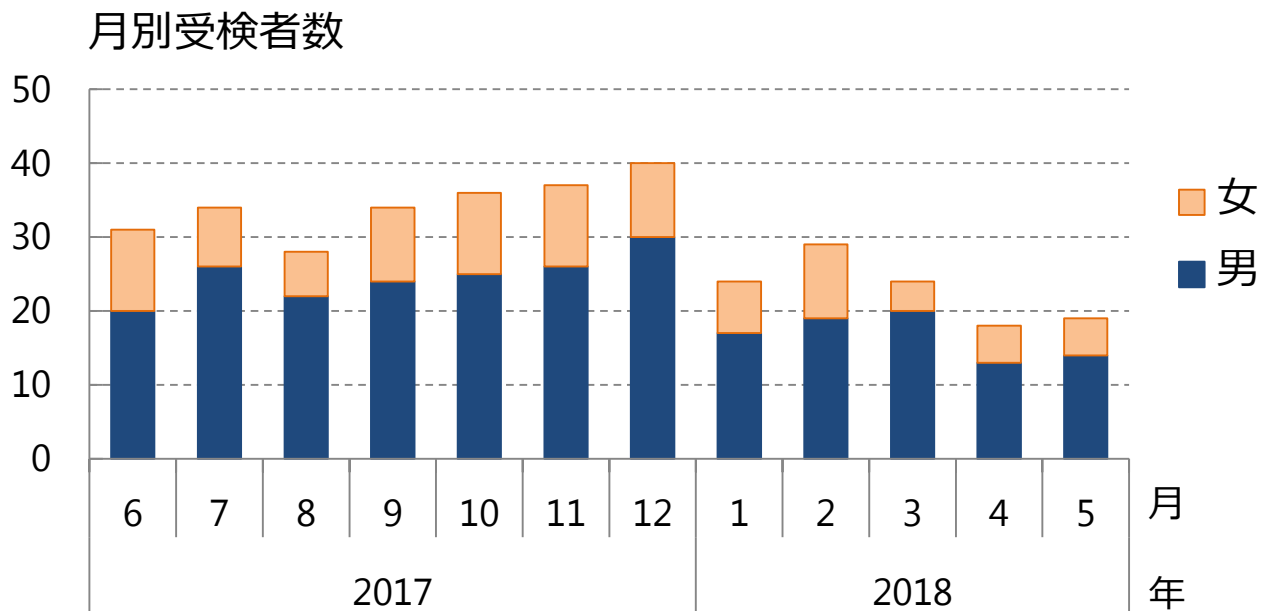
保健所別

岐阜県



県内保健所における梅毒検査の受検状況（岐阜市を除く）

県内保健所では、2017年6月からHIV無料検査に併せて梅毒検査を開始



● 2017年6月～2018年5月

受検者数 354人（男256人、女98人）

うち陽性者* 5人（男4人、女1人） *RPR+、TP+

陽性率 1.4%

- 現行の梅毒の届出では、患者の属性や行動歴が把握できないため、患者報告数増加の理由は明らかとなっていない。
- 岡山市の調査では、異性間接触により感染した男性患者の約7割に風俗店の利用歴があり、女性患者の26%がCSWであったことがわかった。

<u>調査方法</u>	保健所が届出受理時に、医師から聞き取り調査
<u>結果</u>	2017年は岡山市内で男性78例、女性30例の届出あり ・ 男性78例のうち、異性間接触によるもの59例（75.6%） →59例中、過去数か月以内に風俗店の利用歴あり42例（71.2%） ・ 女性患者の25.5%がCSW（コマーシャルセックスワーカー）

★「岡山市における梅毒の発生状況（2010～2017年）および、医師への聞き取り調査で得られた梅毒患者の状況」岡山市保健所 IASR 2018年5月号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/743-disease-based/ha/syphilis/idsc/iasr-news/8018-459p01.html>

- 厚生労働省のエイズ・性感染症に関する小委員会で、届出事項に次の項目を追加する方向で検討されている。
 - ・ 風俗の従事歴・利用歴
 - ・ 妊娠の有無
 - ・ 口腔咽頭病変
 - ・ 梅毒の既往歴の有無
 - ・ H I V 感染症の合併の有無